

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年9月5日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和6年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・体力づくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・第27回小学生ドッジボール大会 ・青年団連携事業 ・救急法講習会 		
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階 施設概要：</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席</p>		
職員体制	職員：館長1名 事務長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員4名 合計：8名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		R05年度(決算)	R06年度(決算)	R07年度(予算)
収入	県支出金	41,728,000	41,332,000	40,193,000
	事業費収入	433,814	307,954	450,000
	収入計(a)	42,161,814	41,639,954	40,643,000
支出	事業費	525,206	490,411	694,000
	管理運営費	16,278,382	15,921,199	15,889,000
	人件費	20,196,070	19,220,044	20,366,000
	消費税	4,162,174	4,026,306	3,694,000
	支出計(b)	41,161,832	39,657,960	40,643,000
収支差額(a)－(b)		999,982	1,981,994	0
使用料収入		4,661,560	2,385,670	4,323,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
利用者数	39,169	50,275	58,212	65,160	31,563	48,876
利用団体数	1,595	1,768	1,897	1,942	889	1,618

※令和6年度は工事のため令和6年9月1日から令和7年2月28日まで閉館

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携においては、部活動を取り組み利用者数を伸ばしていることは評価できる。 ・耐震工事の影響で主催事業が十分に行えていないものの一定の活動を行っている。 ・立地条件及び県民のニーズの高まりから、年々利用者を増やしているが、今年度については工事に伴う閉館のため、利用者だけでは評価が難しいと考えられる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の減少は耐震化工事による休館期間が数ヶ月に渡ったこととあったが、その対策をどのようにしたのかが不明である。工事は前もって決定していたことであれば工事の前や後に利用者の減少分のカバーを対策として講じる必要があると考える。 ・体育館の手段、目的は県民の健康増進であるとする。体育館が使えない期間がある場合、体育館を使わない方法で県民の健康増進をどうやって推進するか？という視点に立って企画を考えるなど対策を講じる必要があると考える。青少年体育館の管理者にはこの視点とそれに基づく行動が不足していると感じた。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備が無い中、既存の設備等の整備・維持等により利用者の満足度を維持できている。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの分析を工夫し、利用者のニーズを把握することが改善へと繋がると考えられる。 ・利用施設や形態、年齢層や属性等によりニーズが異なると思われるので、それぞれの利用者層に応じた受け入れ対応を考えることもサービス向上に繋がると考えられる。 ・体育館の空調設置に向け、今後も取り組んで欲しい。 ・利用者ニーズ調査の結果一覧とそれに対する対応・対策を報告書に添付して欲しい。

③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室の利用者が多い。 ・耐震化工事のための休館があり、例年同様の評価は難しいが概ね円滑に運営されている。 ・電気代の高騰に対応し、節約を積極的に実施している。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング器具の更新要望については、低料金のみで器具を常に充実させることは難しく、トレーニング室の運営の方向性を考える必要があると思われる。 ・施設設備のメンテナンスや利用者の安全等を考慮し、適切な利用者数について検討することも必要である。 ・運営の効率化として、利用者の少ない時間帯のトレーニングジムエリアの一時閉館等も検討することが考えられる。 ・近年の高温での活動については、熱中症指数等を参考にし、安全対策を講じる必要があると思われる。 ・エアコンの設置は真夏の安全管理に直結するため、館内温度と湿度を計測して、施設側で定めた基準値を超える場合には使用を休止、実施中の運動も中止する措置が必要であると考えられる。ジムについては民間の施設にその使命を譲り、ジム機器の設置場所は例えばダンスや体操ができる多目的な場所に改修するなど新たな利用方法を模索することも検討して欲しい。
④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化工事のための休館があり、例年同様の利用者数の評価は難しい。次年度に期待したい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者減少に対する対策が不十分であると考えられる。
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED交換工事により電気代が抑制され、管理運営費が削減されている。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出の中で管理運営費及び人件費が占める割合が高く、引き続き縮減に取り組む必要があると思われる。 ・運営費用に関連する要素としては「体育館へのエアコンの設置」と「ジムの機器の保守と最新機器への更新」が挙げられる。この予算措置を今後どうするのが課題である。
総合評価	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事のための休館期間が長かったため、判定評価が難しい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉館期間中に再開後の利用者増加のための対策をもっと講じる必要があったのではないかと。 ・利用者が減少しないことを意識しつつ、県民の健康増進に寄与する公施設としての使命を果たすことができるよう、利用者ニーズや社会の動向を受けての対応・対策を実行して欲しい。

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

【評価の目安】

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。